

東日本大震災復興に対するご支援の御礼について

福島県吹奏楽連盟

日頃より、福島県吹奏楽連盟の活動に対しましては、特段のご支援と、ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、3月11日の未曾有の東日本大震災により、福島県内では、地震、津波で多くの尊い命、財産を失い、さらに東京電力福島第一原子力発電所の原子力事故により、甚大な被害を受け、県内の文化施設が被災を受け使用できなくなりました。

そのため、今年8月に全国の仲間が、福島県いわき市に結集！各都道府県の代表が個性溢れる演奏と華麗なるパフォーマンスを披露する吹奏楽の饗宴「平成23年度全国高等学校総合文化祭（吹奏楽部門）」は、中止されました。

そのような状況で、全国の皆様方から、震災以来、御見舞やお電話、メール等、心温まる激励や心遣いをいただき、本当にありがとうございました。

東日本大震災後の復旧復興の中、多くの加盟団体は、見えない放射能被害が邪魔をして、十分な練習する場所の確保もままならず、平常時の吹奏楽の活動とはいきませんでした。児童・生徒たちへ「吹奏楽コンクール」出場の場を確保するため、通常吹奏楽コンクールを開催しない「郡山ユラックス熱海 多目的ホール（体育館）」を、関係機関のご配慮のもとお借りでき、体育館のフロアに仮設のステージを組み、横浜と神戸から仮設の反響板を持ちこみ、そして、余震がまだ収まらない中で、吹奏楽コンクール福島県大会を開催させていただきました。

福島県吹奏楽連盟では、全日本吹奏楽連盟を通じて寄せられた全国の皆様方の義援金は、県吹奏楽コンクール会場設営費、被災団体の運営費と吹奏楽コンクール参加のための交通費補助、そして、吹奏楽コンクールに参加できなかった加盟団体に、今後の活動継続に向けての活動費補助として、配分させていただきました。

また、例年県マーチングコンテストを開催する県営あづま総合体育館も、東京電力福島第一原子力発電所から20km以内の警戒区域の避難者が避難されていますので、参加団体の高等学校の体育館をお借りして、観客を入れないで、マーチングコンテスト県大会を開催することになりました。

未だ、東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害の終息の見通しが見えない状況にあり、現在、小・中・高等学校の校庭の表土は剥ぎ、通学路の放射能除染を行っておりますが、原子力災害に負けることなく、福島県吹奏楽連盟は、活動を続けてまいります。

吹奏楽コンクール福島県大会の報告



郡山ユラックス熱海（体育館：福島県立磐城高等学校吹奏楽部）



避難先の会津若松市内から参加した大熊中学校吹奏楽部（銀賞）